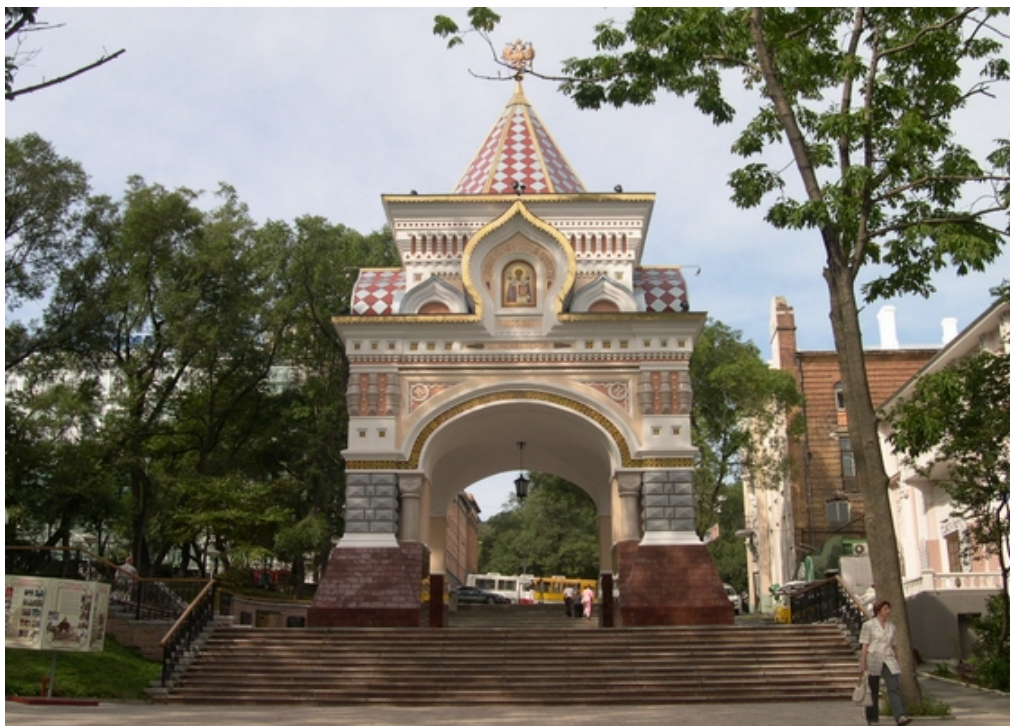


～ウラジオストク～ ～ウラジオストク～

外国人はおろかロシア人までが立ち入りを制限されてきた軍港の町も、開放されてから急速に観光地として脚光を浴び始めています。現地の受け入れは、ソフト面ではまだ外国人旅行客の期待に応えられない面もありますが、ハード面では 4 星クラスのホテルから日本との合併によって建てられたホテルなどもあり、年々受け入れ態勢は整備されつつあります。町の創立は 1860 年、日露戦争で旅順港を失ってから、この港の重要性が強調されるようになり、1891 年には、時の皇太子ニコライ(後の 2 世)が、シベリア鉄道操業の祝典に参加するためにこの町を訪れています。坂道の多い港町で、坂道を走る路面電車の姿から「ロシアのサンフランシスコ」と評されています。



○シベリア鉄道の終着駅・始発駅がある街

ロシアの首都モスクワから 9288 キロの長大な旅を終えた車輛が到着するウラジオストク駅は街の中心にあります。

アジアから欧州へ、欧州からアジアへ。様々な国籍の人々が交差する駅は国際都市ウラジオストクを代表する象徴的な場所です。



○中央広場

スベトランスカヤ通りと金角湾に挟まれた大きな広場。傍らには沿海州の行政機関の合同庁舎がおかれている高層ビルが建っています。オケアン通りの坂道を金角湾に向かって下った辺りの広場の中央部に、ロシア革命とパルチザン勝利の記念碑があります。毎金曜日には、この広場に自由市場が開き、多くの市民で賑わっています。



○鷲の巣丘と展望台

市の北東部にある高台の名称。ここから見下ろす金角湾の眺めは、どことなく「グラバー邸からの長崎湾に似ている。」という人も。この丘で若いロシア人カップルが訪れている姿をよくみかけます。また、臨時のお土産屋を開く者もあり、ちょっとした観光名所でもあります。



○C-56 型潜水艦博物館

太平洋艦隊総司令部の建物下の海岸にあり、博物館として艦内を一般に解放しています。第2次世界大戦で10隻の敵艦を撃沈させた強者。現代の近代的潜水艦とは違う、どこかレトロな当時の潜水艦内部が窺え、「この中で戦ったの？」と思わず首を傾げるほどの造り。当時の乗組員達の苦勞も窺えます。



○ウラジオストク要塞博物館

帝政時代からソ連時代にかけて、規模を拡大強化された要塞がウラジオストク市内及び郊外に広く点在しています。博物館はそれらの点在する要塞の当時の役割や逸話を現代に伝えるため、民間団体が設立したロシアでは珍しい博物館です。日本だけでなく、遠くはイギリス艦隊やアメリカからも軍艦が威嚇にやってきた時代があり、要塞を拡大した当時のロシア側の意図もよく伝わります。実際の要塞跡地も見学可能ですが、管理されておらず、観光客の受け入れ準備が整っていないため市内の当博物館を訪問されることをおすすめします。毎日昼 12 時ちょうどに博物館敷地内にある大砲から‘サリュート！’（祝砲）が1発打たれます。この祝砲を見学しようと 12 時には地元ロシア人や海外からの観光客で賑わいをみせています。



○スベトランスカヤ通り

19 世紀末ドイツ人により建設された現在の Gum 百貨店をはじめ、この通りにある多くの建物は 19 世紀末に建てられたもので、ヨーロッパ的な建築様式の影響が見受けられます。



現在のスベトランスカヤ通り



帝政時代のスベトランスカヤ通り

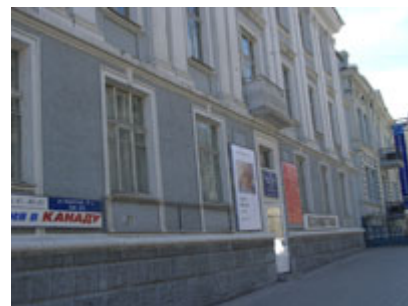
○アルセーニエフ郷土誌博物館

沿海州の探検家、アルセーニエフの名を冠する博物館。沿海州の自然、地理、歴史、文化に関する資料を展示している。この地に生息する様々な蛇、鳥類、大小の動物、なかでもこの地方にしかいないアムール豹やウスリー虎など珍しい標本を見学できる。1930年代のレーシング・バイクやプラモデルのコレクション、この町に縁のあるユル・プリンナー一家の記録など風変わりな展示品もある。



○沿海州立美術館

ここでの意外な出会いは、17世紀のオランダ絵画が多いこと、カンディンスキーの作品を含むロシアの画家の傑作が含まれていることです。一説では、初期のシャガールの作品をも所蔵しているといわれていますが...



○極東水族館

アムール湾を望む海岸沿いにある極東唯一の水族館。有名なのは‘海の真珠’とも呼ばれロシアのお土産品として人気の高い、キャビアの親‘チョウザメ’が飼育されていることです。もし、機会があれば訪れておきたい貴重なポイントです。



○ニコライ凱旋門

1891年、アジア諸国の歴訪から帰国するニコライ皇太子(のちのニコライ2世)を歓迎するために市会の決議に基づいて建てられた歓迎門。ロシア革命後1927年に取り壊されましたが、2003年にはウラジオストクの実業家たちの寄付で新しく復元されました。

